

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/集中 : /Intensive

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10119910			
科目番号 /Course Number	10160280			
単位数/Credits	1			
授業形態 /Course Type	講義・演習：Lecture/Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	世界はいま（リベラルアーツ・ゼミナール）：U.S. and China, Now and the Future（Liberal Arts Seminar）			
担当教員名 / Instructor(s)	/(榎原 美樹)：EBARA Miki			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	○
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	担当教員は NHK で国際報道記者・キャスターとして勤めた経験を持ち、その際の経験を活かして世界で起きている事象をどう見るかについて講義を行い、受講者とともに考える内容となる。	
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1220			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	「グローバル化した世界」と言われて久しく、近年では、「グローバル化の終演」とも表現される世の中ですが、そもそもグローバル化とはいったい何なのか？私たちの生活にどう関係があるのでしょうか？世界を襲った新型コロナウイルスの爆発的感染、ロシアによるウクライナへの侵攻、イスラエルとハマスの軍事衝突とその余波は、こうした問題を考える絶好の機会を与えてくれています。 この授業はNHKで30年以上の経験を積んだジャーナリストが教鞭をとる2日間の特別授業です。世界のニュースを日本のお茶の間へ送り、また日本から世界160か国へ、英語での放送を行う仕事を担当してきた実務経験を踏まえて講義を行います。受講生は、最新の国際情勢にどのように関心を持ち、それがどう日本の社会や自分の生活と関わるのかを考える力を養っていただきます。また、グローバル化が社会にもたらす変化の「光」と「影」とは何か、一方で「ローカル」の視点とは何か。日本の視点から分析・展望し、日本から世界へ何を発信してゆけばよいのかを皆さんで議論していただきます。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	

英	
---	--

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回	<1日目> 1.イントロダクション グローバルとはなにか 2.グローバル VS ローカル～コロナのパンデミックから学ぶ教訓 3.グローバル VS ローカル～トランプ新政権のアメリカ、ロシアのウクライナ侵攻、中東情勢...私たちとどう関係あるの？ 4.ドキュメンタリー視聴
	英		
2	日	第2回	<2日目> 5.グローバル VS ローカル ～ つなぐものとは？ 6.グループディスカッション 自分たちは何ができるのか 7.グループディスカッション 8.討論発表とまとめ
	英		
3	日		
	英		
4	日		
	英		
5	日		
	英		
6	日		
	英		
7	日		
	英		
8	日		
	英		
9	日		
	英		
10	日		
	英		
11	日		
	英		
12	日		
	英		
13	日		
	英		
14	日		
	英		
15	日		
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	特になし
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review
--

日	受講生は、普段から国際ニュース全般に関心を持ち、日本とそれがどうつながるのか、考える努力をお願いしたい。 特に自分の関心のある国や地域、あるいは分野（たとえば、気候変動、環境、経済、医療、テクノロジー、文化・芸術・芸能、ジャーナリズム、事件、災害、軍事、国連、非政府組織、国際援助、難民など、何でもいい）について、継続的に国際的な動向をフォローしてもらいたい。 両日とも、講義の中では、講師と受講生の皆さんとの、あるいは受講生グループでの活発なディスカッションを期待しています。 本講義に対しては、36時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	出席のほかに、ディスカッションでの発言など授業への積極的な参加、授業終了時のミニレポートなどを、総合的に評価する。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	授業内容は、国際情勢の変化に対応してアップデートしてゆきます。 授業の中で、ドキュメンタリー番組を見ていただくことも計画しています。 集中講義日とコース：8月25日(月)2コース～5コースと、8月26日(火)1コース～4コース
英	